

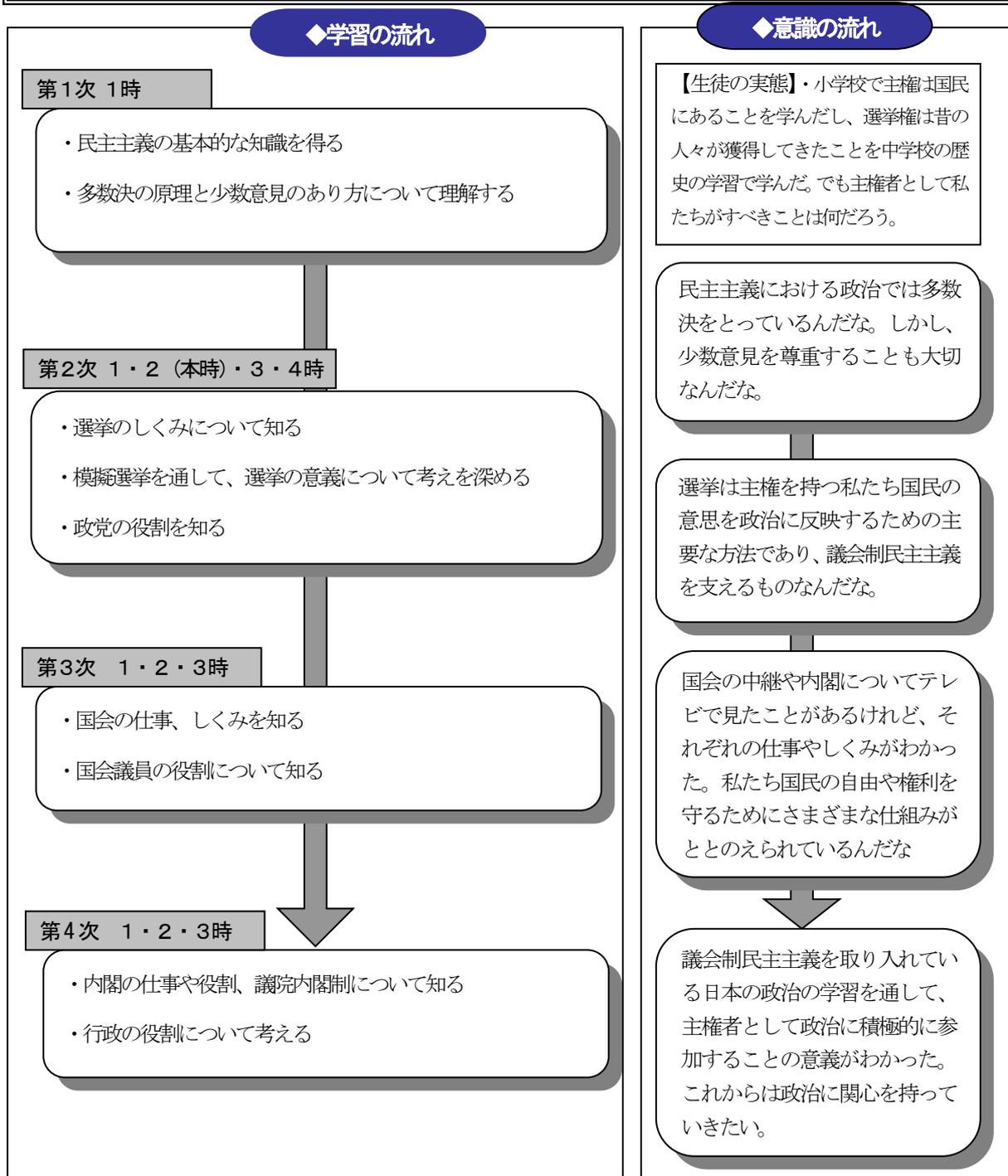
# 第3学年 社会科 学習指導案

平成29年10月24日(火) 第5校時  
高知市立愛宕中学校3年4組 生徒数39名  
指導者 川村 綾

## 1 単元構想図

単元名 第3章 私たちの暮らしと民主政治 第1節 民主主義と日本の政治 (全11時間)
--

<b>【単元でつきたい力】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・現代の政治に関心を持ち、主体的に調べ、課題を追究しようとする力。</li><li>・様々な資料から、課題に即して読み取ったり、複数の資料を関連させて分析する力。</li><li>・主権者としての意識をもち、政治の課題を多面的・多角的に考え、自分の言葉で表現する力。</li></ul>
---



## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の公民的分野(3)「私たちの政治」の「民主政治と政治参加」の部分にあたる。ここは「(略)国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。(略)民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。」と示されている。

現在の日本は急速に変化する国内外の社会情勢に対応するため、主権者として、国民一人一人が政治に関心を高め、国民の意思を国政に反映させることが非常に重要になっている。しかし、投票率は年々低下するなど、国民の政治に対する関心の低さが問題となっている。そんな中、平成28年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が施行し、選挙権が満18歳に引き下げられた。それともなると、学校教育における主権者教育がますます重要になってきている。義務教育を修了する中学3年生において、主権者教育は極めて意義があるといえる。この単元では議会制民主主義に関する学習を通して、民主政治が権力分立により国民の自由や権利を守るとともに、国民の意思の反映をはかるしくみとなっていること、また、国民の積極的な政治参加により民主政治を推進することが大切であること理解させ、人間を尊重し、自由と権利を保障する民主政治を守り、発展させようとする意欲や態度を養いたい。

### (2) 生徒観

活発で積極的に発言できる生徒が多く、普段の授業の中でも多様な意見が出るクラスである。表現することに消極的な生徒もいるが、どんな意見でも受け入れる雰囲気があり、ワークシートやノートなどそれぞれの方法で表現するように取り組んでいる。社会的事象に興味を持ち、意欲的に学習に取り組む生徒が多いが、自ら課題を見つけ、その課題に向けて順序立てて解決しようとする力は全体的にまだまだ不十分である。

学習に先立って行った事前アンケートでは「政治に関して興味関心を持っている」という質問に対して肯定的に答えた生徒は60.4%、また、「将来投票に行きたいと思う」という質問に対して肯定的に答えた生徒は60.5%と半数以上の生徒が政治や選挙に興味を持っていることが分かった。また、「日本にこうなってほしいという自分の願いがある」という質問に対しても73.6%と肯定的な回答が多かった。今、生徒が持っている政治への関心を大切にしながら、自分の思いを政治に反映させるための方法を学びやその意義について考えさせながら、主権者としての意識を高めさせたい。

### (3) 指導観

公民的分野は用語や概念も「難しい」と感じ、抵抗感や不安感を示す生徒も多くいる。そこで学習に対する興味・関心を高めるために、取り上げる社会的事象が自分たちに近いことだと捉えられるよう、ニュースや新聞記事などを活用している。担当学年は1年生から担当しており、地理的分野や歴史的分野においても、社会で起こっていることをできるだけ取り上げながら、興味・関心を持たせるようにしてきた。公民的分野は地理的分野と歴史的分野で学んだことを関連して学ぶところも多い。既習事項と新たに身につける知識と関連づけて考えさせ、社会的事象に対して多面的・多角的に考える力を高めていきたい。

本校の学校教育目標は「仲間と共に学び、自ら考え行動する生徒の育成」であり、研究主題は「知識・技能を活用して考えさせる授業の研究」である。グループを用いた作業や話し合いの学習を通して、既習事項を活用し、根拠をもとに考え、表現する言語活動の充実を図りたい。そのために、学習規律の徹底をはかり、仲間との関わりを持ち、多様な意見や考えを尊重できる心を育てていきたいと考えている。

## 3 単元の目標

- ・政治参加への意識を高め、民主的な政治と政治参加の方法について意欲的に考え、行動することができる。
- ・政治に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、複数の資料を関連させて考察したことをまとめることができる。
- ・政治に関する様々な事象から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を自分の言葉で表現できる。

#### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
将来国政に参加する公民として、政治に対する関心を高め、民主的な政治と政治参加の方法について意欲的に考えようとしている。	議会制民主主義や選挙の意義、民主政治の推進と国民の政治参加との関連について、政治に関する様々な事象から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を自分の言葉で表現している。	政治に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、複数の資料を関連させて考察したことをまとめている。	民主政治が国民の自由や権利を守るとともに、国民の意思を反映する仕組みをもっていること、また国民の積極的な政治参加により民主政治を推進することが大切であることを理解し、その知識を身につけている。

#### 5 指導と評価の計画 (全11時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					評価方法
		関	思	技	知	評価規準	
1	民主主義と多数決の原理 (1時間) ・民主主義の基本的な知識を得る ・多数決の原理を知る	○			◎	・議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。 ・政治への関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。	観察 (態度・発言・関わり) ワークシート ノート
2	選挙の仕組みと政党の役割 (4時間) ・選挙のしくみについて知る ・模擬選挙を通して選挙の意義を考える ・政党の役割を知る ・公正な世論の形成について考える		◎	○	○	・選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解している。 模擬選挙を通して、現在の選挙課題をふまえ、既習事項や話し合った内容をもとに、どのような意識で選挙に臨むべきか、自分の言葉で適切に表現している。	観察 (態度・発言・関わり) ワークシート ノート
3	国会の仕事 (3時間) ・国会の仕事としくみ、国会議員の役割を知る		○		◎	・国会が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることや様々な国会の仕事について理解している。 ・二院制がとられている理由や「衆議院の優越」が持つ意義について考え、自分の言葉で説明ができる。	観察 (態度・発言・関わり) ワークシート ノート
4	内閣の仕事と行政の役割 (3時間) ・内閣の仕事や役割、議院内閣制について知る ・行政の役割について考える		◎		○	・内閣の仕事や議院内閣制のしくみを理解している。 ・「大統領制」と比較しながら、議院内閣制を採用している理由を考察し、自分の言葉で説明することができる。	観察 (態度・発言・関わり) ワークシート ノート